

目 的

帯広の森の認知度や利用状況のほか、どのように過ごしたいのかなどの市民ニーズを収集し、今後の整備や利活用等を考える上での基礎データとすることを目的としている。

調査対象と方法

アンケートに関するチラシを、帯広の森・はぐくむや体育施設のほか、図書館やとかちプラザなどの公共施設、中学校や高等学校に配布し、web や用紙により回答してもらうこととした。また、帯広市 HP や帯広市公式 LINE でも周知し、帯広市民に限定せず幅広く調査を行った。期間は、令和 6 年 8 月 6 日から令和 6 年 10 月 15 日までとした。(回答数：1,061 人)

調査項目と内容

帯広の森の利用に関することや、これからの森での過ごし方などの 21 項目を設定した。質問内容の詳細、回答は以下のとおり。

調査結果の概要及び考察

(1) 回答数 1,061 人 (web 1,061 人、用紙 0 人)

(2) 回答者の属性

回答者の居住地は、帯広市内が 929 人 (約 88%)、帯広市外が 132 人 (約 12%) となった。

なお、回答者の年齢割合は図 1 のとおりとなった。

(3) 帯広の森に関する事柄で知っていること

【あなたが「帯広の森」に関する事柄で知っているものを選んでください。】という質問について、3 つまで当てはまるものを選択、回答してもらった。結果は表 1 のとおりで、「帯広の森」に関して知っているものは、多いものから順に「体育施設」が 905 人、「はぐくむ」が 598 人、「市民の森」が 490 人であった。

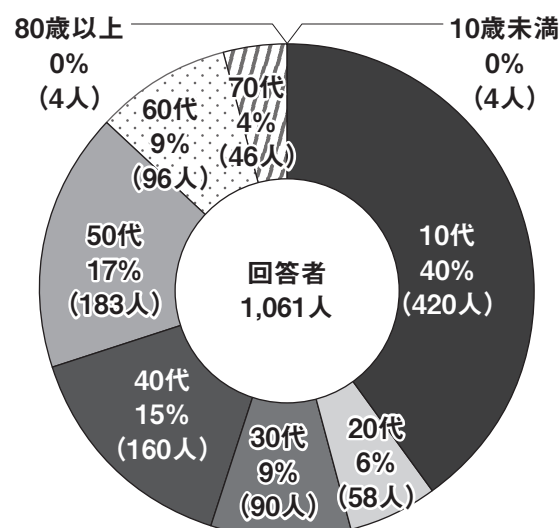
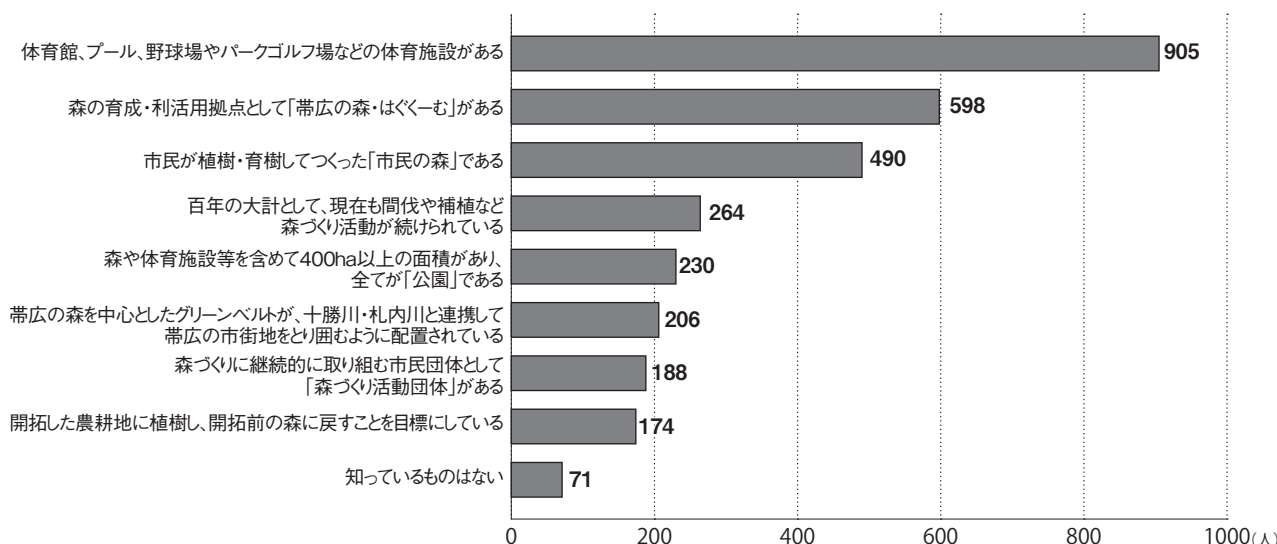


図1：年齢

表1：知っているもの



帯広の森の認識としての多くが「体育施設」である一方で、育成や利活用の拠点施設である「帯広の森・はぐくむ」や、「市民の森」であることを認識している人も一定数いるため、市民植樹祭などの市民協働の取組みのほか、帯広市や指定管理者のこれまでの活動が、そういった施設の存在を認知させることにつながったと考えられる。

(4)「帯広の森」の好きなところ、好きな理由

【あなたは「帯広の森」のどこが好きですか。】また、【好きな理由を教えてください。】という質問について、自由記述で回答してもらった。

表2：好きなところ、好きな理由

好きなところ	人数	理由
自然が豊か、緑が多い、 動物、木、野鳥、草花、虫 など	291	自然がいっぱいだから 自然の中にスポーツ施設があるから リス等の動物が見られるから 身近に自然を感じられるから 静かでゆったりしていて心が落ち着くから 歩くだけで自然を感じられるから 空気が綺麗だから 広大だから
スポーツ施設が沢山あること、 プール、オーバル、野球場、 アイスアリーナ、サッカー場、 陸上競技場、体育館、弓道場、 テニスコート、パークゴルフ場、 研修センター など	279	スポーツ施設が綺麗に整備されていて使いやすいから 色んなスポーツができる又は観戦できるから 大規模な大会が開催されているから 子供がスポーツ施設を利用しているから 学生時代の思い出があるから 自然に囲まれて気持ち良くプレー出来るから
風景、もりの山 など	68	自然や緑が綺麗だから もりの山から市街地や日高山脈を一望出来るから 自然と都市の一体感があるから
特に無い、行ったことがない など	43	行ったことがないのでわからない
散策路、遊歩道 など	32	歩きやすいから 自然を楽しみながらウォーキングができるから
四季折々の景色 など	31	花、緑、紅葉、雪景色など色々な景色が見られるから
はぐくむ	24	様々な体験イベントに参加出来るから 子供が利用出来るから
その他 森の交流館、JICA、ぱわっく 帯広の森の成り立ちや構想 など	90	色々な施設が集まっているから
合 計	858	

前述の(3) 帯広の森に関する事柄で知っていることの回答では、「体育施設」が一番多かったが、帯広の森の好きなところでは「体育施設」よりも「自然が豊か、緑が多い、動物、木、野鳥、草花、虫など」が一番多く、自然の豊かさが帯広の森の魅力になっていることがわかった。

(5) 「帯広の森」利用について

【あなたは「帯広の森」を利用しますか。】という質問について、当てはまるものを選択、回答してもらった。

結果は図2のとおりで、「利用している」が491人（約46%）、「過去に利用したことはあるが、今は利用していない」が405人（約38%）、「全く利用していない」が165人（約16%）となった。

現在、利用していない方々が半数を以上を占めており、帯広の森を利用しなくなった理由を把握することで、今後の利活用促進に向けた検討に活用できるものと考える。

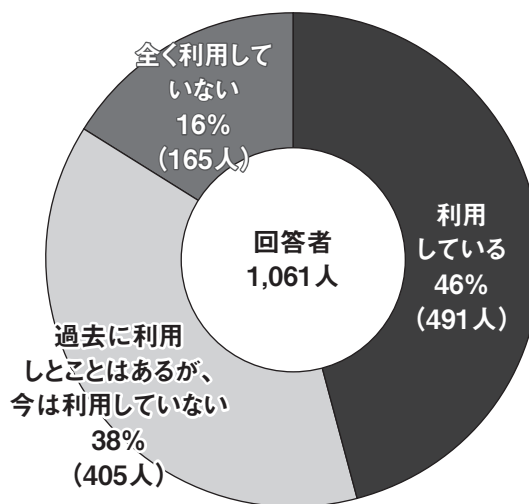
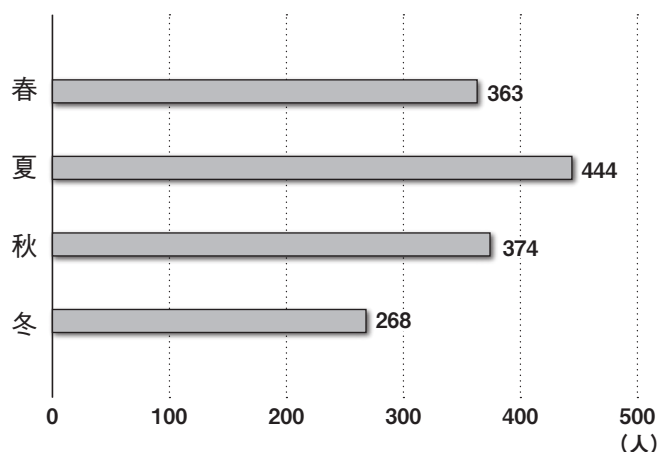


図2: 利用状況

(6) 帯広の森を利用する季節

表3: 利用する季節



【帯広の森をどの季節に利用しますか。】という質問について、当てはまるものを全て選択、回答してもらった。

結果は表3のとおりで、前述の(5)【あなたは「帯広の森」を利用しますか。】で「利用している」と答えた491人（以下、利用している人）が利用する季節は、夏（444人）が最も多く、続いて秋（374人）、春（363人）、冬（268人）となっており、夏場の利用が多い傾向ではあるが、1年を通じて利用されていることがわかった。

(7) 利用頻度

【どれくらいの頻度で帯広の森を利用しますか。】という質問について、当てはまるものを選択、回答してもらった。

結果は図3のとおりで、利用している人のうち、利用頻度は多いものから順に「月に数回」が291人（約59%）、「週1～2回」が72人（約15%）、「ほぼ毎日」が70人（約14%）、「週3～5回」が58人（約12%）となった。

「ほぼ毎日」、「週3～5回」が4分の1を占めており、利用されている方は、日常生活の一部として利用されていることがわかった。

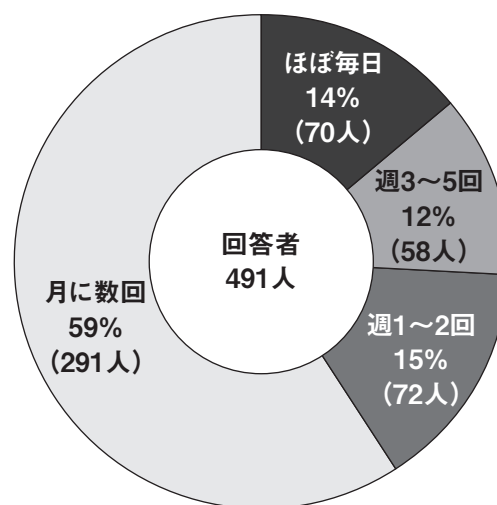


図3: 利用頻度

(8) 利用する時間帯

【主に何時ごろに利用しますか。】という質問について、当てはまるものを選択、回答してもらった。

結果は図4のとおりで、利用している人のうち、利用時間は多いものから順に「9～12時」が142人（約29%）、「15～18時」が125人（約25%）となっており、1日を通じて満遍なく利用されている。

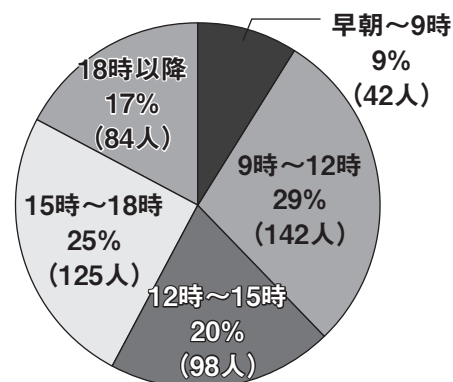


図4: 利用時間

(9) 移動手段

【どのような手段で帯広の森に来ますか。】という質問について、当てはまるものを選択、回答してもらった。

結果は図5のとおりで、利用している人のうち、移動手段は多いものから順に「乗用車（レンタカー含む）」が277人（約56%）、「自転車」が172人（約35%）と、乗用車と自転車だけで9割以上を占めており、これら以外の移動手段の確保が課題であることがわかった。

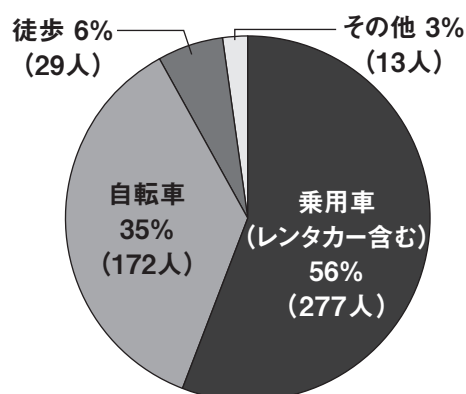


図5: 移動手段

(10) 誰と利用するか

【主に誰と利用しますか。】という質問について、当てはまるものを選択、回答してもらった。

結果は図6のとおりで、利用している人のうち、誰と利用するかは多いものから順に「部活・サークル仲間」が192人（約39%）、「子供」が80人（約16%）、「ひとり」が69人（約14%）となっており、回答者の4割が10代を占めていることもあり、体育施設を利用する「部活・サークル仲間」が4割程度となっている。

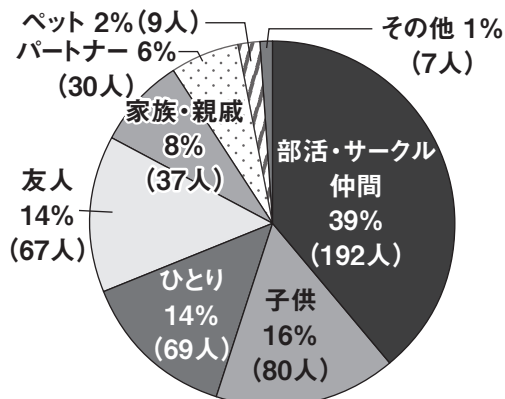


図6: 誰と利用するか

(11) 滞在時間

【1回の利用でどれくらい滞在しますか。】という質問について、当てはまるものを選択、回答してもらった。

結果は図7のとおりで、利用している人のうち、滞在時間は多いものから順に「1時間～3時間」が313人（約64%）、「30分～1時間」が78人（約16%）、「3時間～5時間」が66人（約13%）となっており、3時間以内の利用が8割以上を占めている。

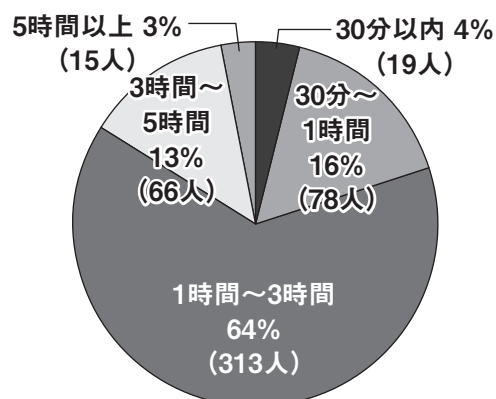


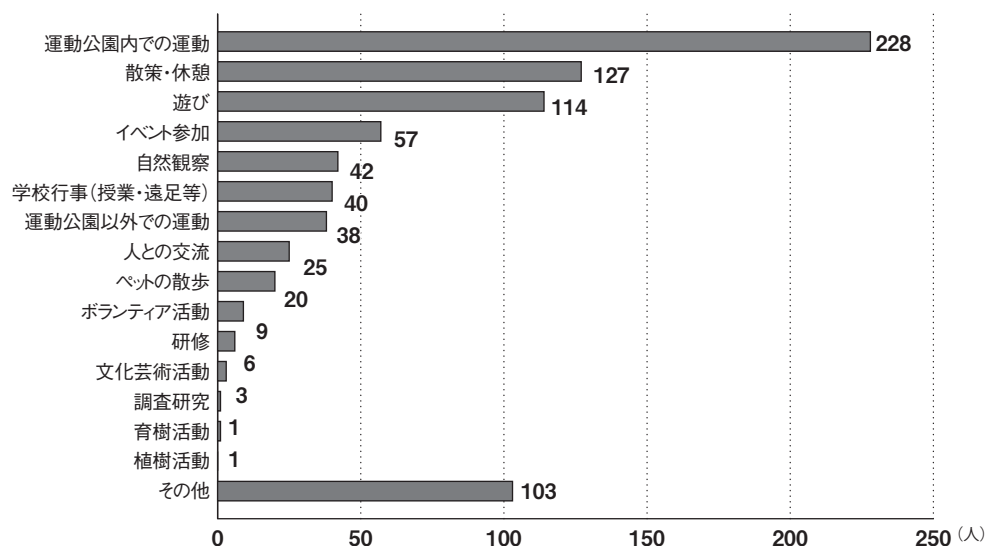
図7: 滞在時間

(12) 利用する主な目的

【帯広の森を利用する主な目的を教えてください。】という質問について、3つまで当てはまるものを選択、回答してもらった。

結果は表4のとおりで、利用している人の利用目的は、多いものから順に「運動公園内での運動」が228人、「散策・休憩」が127人、「遊び」が114人となっており、運動公園内での運動が最も多くなっている一方で、散策・休憩や遊びなども一定数いることや、それ以外の利用目的もあり、多様な目的で利用されていることがわかった。

表4:利用目的

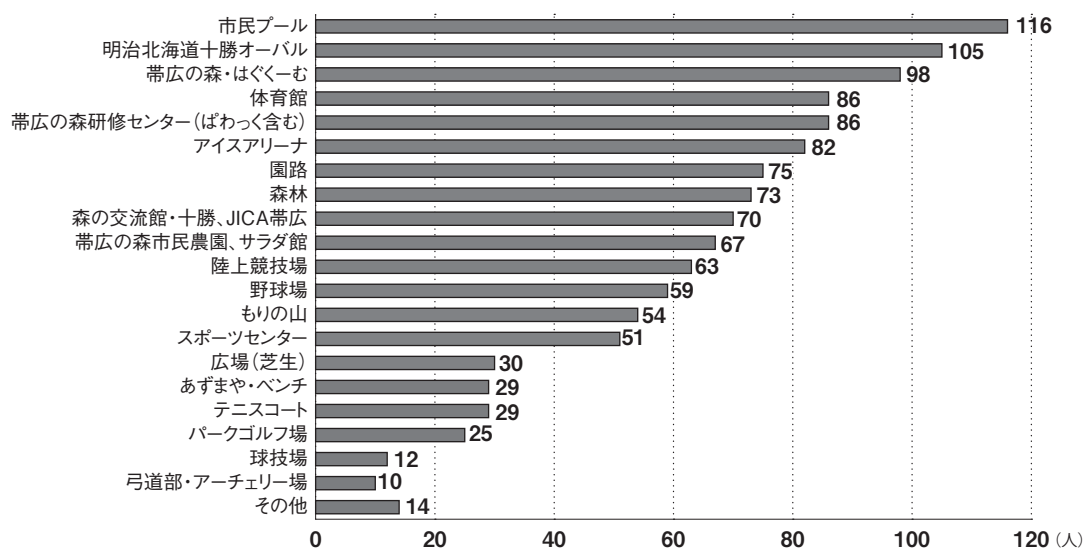


(13) 利用する施設

【主にどの施設を利用しますか。】という質問について、当てはまるものを全て選択、回答してもらった。

結果は表5のとおりで、利用する施設は、多いものから順に「市民プール」が116人、「明治北海道十勝オーバル」が105人、「帯広の森・はぐくむ」が98人となった。

表5:利用する施設



前述の(3)【あなたが「帯広の森」に関する事柄で知っているものを選んでください。】で得られた回答と同様に、運動公園内の施設利用が上位を占めている。一方で、帯広の森の拠点施設である帯広の森・はぐくむも同水準で利用されている。

これは、前述の利用目的である散策・休憩、遊び、イベント参加、自然観察などが、帯広の森・はぐくむの利用につながっているものと考えられる。

(14) 満足度

【帯広の森について満足度を教えてください。】という質問について、当てはまるものを選択、回答してもらい、また、【上記の満足度の理由を教えてください。】という質問について、自由記述で回答してもらった。

結果は表6のとおりで、6割程度の人が「満足」、「やや満足」と回答している一方で、帯広の森に行ったことがない等の理由から3割程度の人が「普通」となっている。

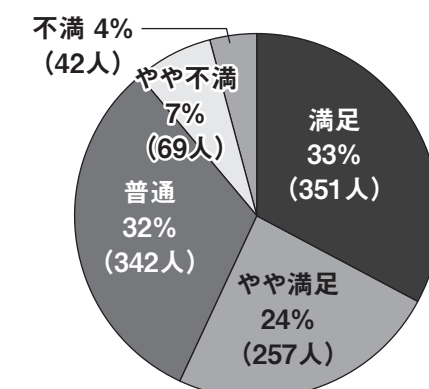


図8: 満足度

表6: 満足度

満足度	人数	理由
満足	351 (33%)	悪いところがない、きれい、広い 利用しやすい、心が安らぐ 気持ち良くスポーツができる 色んなスポーツをしたり観戦できる スポーツ施設が綺麗に整備されていて使いやすい 駐車場が広い 自然が豊か
やや満足	257 (24%)	施設が綺麗、施設が古い 利用しやすい、普段利用しない人にはわかりにくい 色んなスポーツ施設が揃っている 自然が豊か、虫がいる 近い、遠い
普通	342 (32%)	スポーツ施設があることしか知らない 行ったことがないからわからない、利用しない 最近は行っていない 良くも悪くもない 遠い、交通の便が悪い 何があるのかわかりにくい 施設が老朽化している
やや不満	69 (7%)	施設が古い、子どもの遊び場が無い、駐車場が足りない 空調等の設備に不満、各施設への入口がわかりづらい 遠い、自家用車がないと行けない、バスの便が少ない 色んな施設があるが入りづらい スポーツ施設では団体利用者が多くて個人で使いにくい スポーツ施設しか知らない、利用の仕方がわからない
不満	42 (4%)	遠い、森の手入れが悪い 利用していない、帯広の森のことがわからない
合計	1,061	

(15) 利用しない理由

【帯広の森を利用しない理由を教えてください。】という質問について、当てはまるものを選択、回答してもらった。

結果は図9のとおりで、前述の(5)【あなたは「帯広の森」を利用しますか。】で「過去に利用したことはあるが、今は利用していない」または「全く利用していない」と答えた570人のうち、利用しない理由が多いものから順に「目的がない」が249人（約44%）、「場所が遠い」が114人（約20%）、「時間がない」が73人（約13%）となった。

目的がないが4割以上を占めており、帯広の森が持つ様々な魅力の向上や情報発信ができていないことが1つの要因であると考えられる。

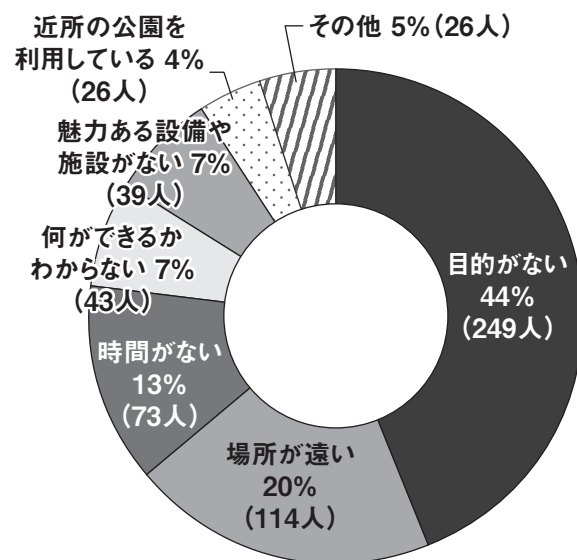


図9: 利用しない理由

(16) どのように過ごせたら楽しいか、またはやってみたいことはあるか。そのためには何が必要か

【あなたは、帯広の森でどのように過ごせたら楽しいと思いますか。または、やってみたいことはありますか。】、また、【上記の過ごし方・活動をするにあたって、必要なものは何ですか。】という質問について、自由記述で回答してもらった。

結果は、表7に9つの要素別にとりまとめた。帯広の森での過ごし方、やってみたいこととして、運動や遊び、ゆっくりのんびり過ごす、飲食などが多くあったほか、そのために必要なものとして、カフェやレストラン、遊具、キャンプ場などの施設、トイレやベンチなどのインフラ施設を求める声が多くあることがわかった。

表7: 過ごし方、やってみたいこと、必要なもの

要素1	ゆっくり、のんびり、ゆったり など	66人
過ごし方 やってみたい こと	●友達や家族と気軽に行ってゆっくりしたい、喋りたい ●1人で時間を気にせずゆっくり過ごしたい、くつろぎたい ●森の中をゆっくり散策したい ●読書を楽しみたい ●日陰でゆっくりしたい	
必要なもの	●ベンチ ●トイレ ●休憩所、四阿 ●カフェ、レストラン、キッチンカー ●芝生	
要素2	飲食、カフェ など	49人
過ごし方 やってみたい こと	●森の中や見晴らしの良い所にカフェがほしい ●自然の中でお茶や珈琲を飲んだり、おいしいものを食べたい ●家族で楽しめる飲食スペースがほしい ●運動後や散歩の途中で休憩出来る場所がほしい ●とかちマルシェのような食のイベントを開催してほしい	
必要なもの	●カフェ ●レストラン ●キッチンカー ●キャンプ場	
要素3	運動、スポーツ、トレーニング、散歩 など	163人
過ごし方 やってみたい こと	●子どもや犬と一緒に散歩がしたい、のんびり自然散策したい ●ウォーキング、サイクリング ●自然を感じながらスポーツを楽しみたい ●気軽に色々なスポーツを体験したい ●プロの試合を観戦したい	
必要なもの	●カフェ、レストラン、キッチンカー ●遊歩道、園路の整備 ●休憩所、ベンチ、トイレ ●バスなど交通機関 ●コンビニ ●宿泊施設、合宿所	

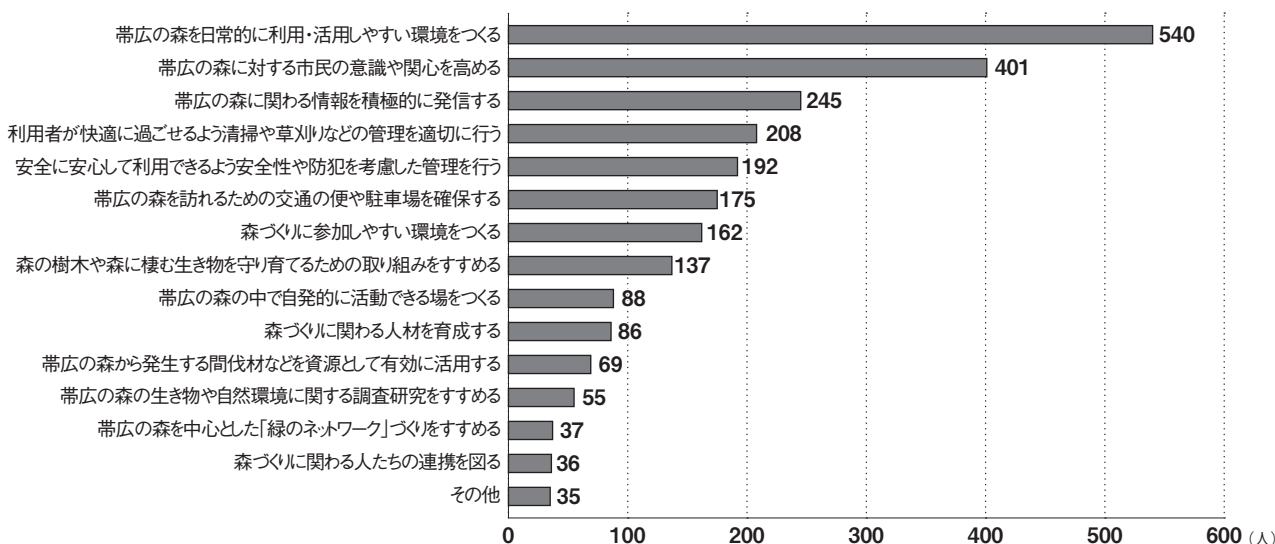
要素 4	自然、動植物 など	61 人
過ごし方 やってみたい こと	●森林浴、自然散策 ●リス、野鳥、昆虫、野草、木、花などを観察したい ●自然や四季を感じてリラックスしたい ●自然を感じながらスポーツを楽しみたい ●子供と一緒に自然の中を歩いたり、遊びたい ●自然の中で飲食したい	
必要なもの	●カフェ、レストラン、キッチンカー ●キャンプ場 ●自然を案内する人、案内図、魅力の発信 ●休憩所、トイレ ●遊歩道の整備	
要素 5	子供、子育て、乳幼児 など	52 人
過ごし方 やってみたい こと	●子供向けのイベントをやってほしい ●乳幼児や未就学児が屋内で安全に遊べる場所がほしい ●子供と一緒に過ごせる場所がほしい ●屋内外にもっと子供向けの施設がほしい ●子供が自然に触れられる空間がほしい	
必要なもの	●カフェ、キッチンカー ●キャンプ場 ●大型遊具、室内遊具、児童会館のような遊具 ●キッズスペース、乳幼児の飲食スペース、涼しい休憩スペース ●バス等の交通機関、トイレ	
要素 6	遊び、遊び場 など	71 人
過ごし方 やってみたい こと	●大人も子供も一緒に遊べる場所がほしい ●レジャー施設がほしい ●水遊びができる場所、冬でも遊べる施設がほしい ●市外にあるような広い公園、屋内遊戯施設が帯広にもほしい ●森のアスレチック、ハンモック、ブランコで遊びたい	
必要なもの	●屋内遊戯施設、屋外遊戯施設 ●大型遊具、木製遊具、木 ●水遊び場、キャンプ場 ●カフェ、キッチンカー ●涼しい場所、飲食スペース	
要素 7	イベント など	49 人
過ごし方 やってみたい こと	●野外音楽フェス ●子供向けのイベント、お祭り、花火 ●とちかちマルシェやファーマーズマーケットのような食のイベント ●芸術祭 ●自然を楽しめるイベント ●スポーツのイベント	
必要なもの	●キャンプ場 ●キッチンカー、カフェ ●飲食スペース、休憩スペース ●イベント情報の発信	
要素 8	バーベキュー、キャンプ、ピクニック など	69 人
過ごし方 やってみたい こと	●キャンプ ●バーベキュー ●ピクニック	
必要なもの	●キャンプ場、炊事場、トイレ、コテージ、宿泊所 ●カフェ、レストラン、キッチンカー ●芝生、テントを張るスペース ●テントや焼き台などのレンタル	
要素 9	その他	228 人
過ごし方 やってみたい こと	●ない、わからない ●犬と遊びたい ●交通の便を良くしてほしい、遠い、坂を上るのが大変 ●コンビニ、温泉、サウナがほしい ●施設内を涼しくしてほしい	
必要なもの	●カフェ、レストラン、キッチンカー ●ドッグラン ●交通手段 ●宣伝 ●冷房	

(17) 今後の「帯広の森づくり」に必要な取り組み

【次の50年に向けて、帯広の森の価値や魅力を未来に引き継ぎ、より身近に感じていただける利活用を促進するために、今後の「帯広の森づくり」にどのような取り組みが必要だと思いますか。】という質問で当てはまるものを3つまで選択、回答してもらった。

結果は表8のとおりで、「帯広の森づくり」に必要なと思う取り組みは、多いものから順に「利活用しやすい環境をつくる」が540人、「意識・関心を高める」が401人、「情報を積極的に発信する」が245人となった。

表8: 今後必要な取り組み



必要なインフラ等の整備、帯広の森が持つポテンシャルを市民に知ってもらい関心を持ってもらうこと、そのための情報発信を強化することが必要となることがわかった。

(18) おわりに

本調査から、造成開始から50年を経過する帯広の森の使われ方や利用実態、帯広の森の満足度や必要と思うもの等について基礎データを得ることできた。

現状では、帯広の森に対する認識は「体育施設」が一番であり、帯広の森を利用する人の利用形態もそれに沿ったものが多くある一方で、利活用の拠点施設である「帯広の森・はぐくむ」も一定程度利用されていた。帯広の森を利用しない人は「目的がない」ことが一番の理由となっていたため、今後、四季を通じた自然の魅力や各施設で実施している様々なイベント等の情報発信に加え、必要なインフラ等を整備すること、知ってもらう、利用してもらうといった仕掛けづくりが重要となる。

なお、これらの基礎データは、多くの市民の皆様により一層親しまれる森づくりを進めていくために、今後の森づくりの参考とするものである。

最後に、本アンケート調査の実施に際し、ご協力いただいた方々をはじめ、長年にわたり帯広の森づくりにご協力いただいている市民の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、今後ともさらなるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。